

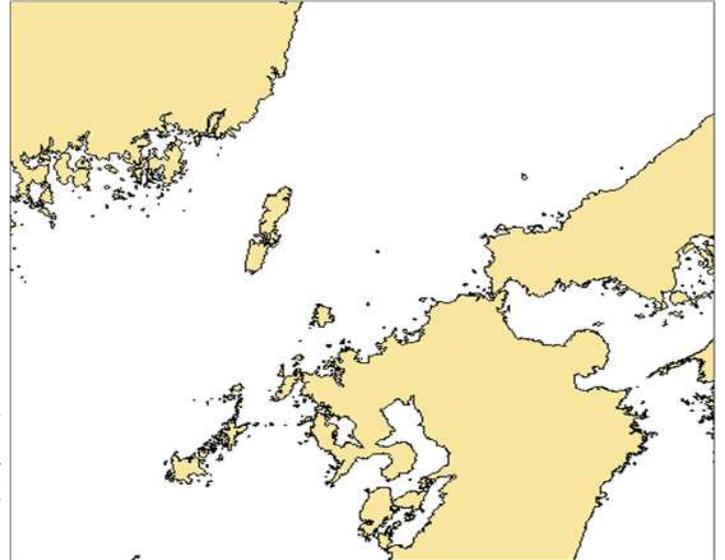
平成30年11月
七管内漁船海難 計18隻

11月の漁船海難発生地点

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	8
乗揚	4
火災	1
浸水	1
運航不能 (推進器障害)	1
運航不能 (有人漂流)	1
運航不能 (無人漂流)	2
合計	18隻

	県別内訳	
	11月	H30累計
山口県	2	14
福岡県	7	22
佐賀県	0	6
長崎県	5	45
大分県	4	19

県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。



船首部が破損したA丸



B号の衝突痕

<事故事例> 見張り不十分

A丸は、自動操舵にて帰港中、**前方の見張りを全くしていなかった**ため、錨泊中の貨物船B号に気付かず衝突してしまいました。

沿岸部には錨泊中の船舶が、多数存在しますので、**見張り**を厳重に行って自ら回避してください。

見張りをしない航行は、自動車のわき見運転と同じです！！(自動操舵の時も同様です)

前方の見張りを厳重にして安全な航行を心がけましょう！

漁船セーフティラリーもあと少しです！
みなさん、無事故で、良い年をお迎えください。

